

なぜ、子どものえがお条例を作ったの？

今後本市が、大震災や感染症の影響を乗り越え、持続的に発展していくには、「子育てするなら福島市」と称されるまちとなり、若い世代が集まり定着してもらうことが大切です。

「子ども・子育て新ステージ2020」により、子育てしやすいまちづくりの取り組みを開始しましたが、何よりも地域社会全体が子どもたちを大切に、子育て世代を応援していくことが重要です。

このため、地域社会全体で子どもと子育てを応援していくという市民意識の醸成を図るとともに、本市の実情に即した子どもと子育ての施策の11の基本的な方向性に基づき、子育て環境の整備に総合的、継続的、安定的に取り組む、子どものえがおあふれる社会の実現を目指すために「福島市子どものえがお条例」を制定しました。

あなたもえがお運動してみませんか？

市民・地域・企業が子育て世代に関心を持ち、悩みを理解して、一人ひとりができることから行動することで、福島市にえがおあふれるまちを一緒につくっていきましょう。

えがお運動の一例

- 子どもたちに会ったら、「おはよう・こんにちは」とあいさつする。
- 子どもたちの、登下校時に「イヌの散歩や畑仕事」を行い、不審者がいないか見守りする。
- ノー残業デーを導入し、職場での子育て支援を推進する。
- 安心して利用していただけるよう、授乳スペースやおむつ交換するスペースを確保する。

福島市 子どものえがお条例

福島市ホームページ 検索

「Qえがお条例」



各種支援制度 福島市子育て支援ガイドブック 「えがお」

福島市ホームページ 検索

「Qえがお」



相談支援 子育て相談センター 「えがお」 (電話 024-525-7671)

福島市ホームページ 検索

「Q子育て相談」



福島市 子育てアプリえがお

妊婦中の健診記録や子どもの成長記録・予防接種のスケジュール管理、市からのお知らせや子育てイベント情報の確認などができます。



福島市 こども未来部 こども政策課

〒960-8002 福島市森合町 10-1 (保健福祉センター)
電話 024-535-1111 (内線 6511) FAX 024-572-3417
メール ko-shien@mail.city.fukushima.fukushima.jp



福島市 子どものえがお条例

子どものえがお条例では、福島市全体で子どもたちを大切に、子育て世代を応援していくため、地域社会のそれぞれの役割を定めました。皆さんの立場に応じた役割を知り、そして考えていただき、子どもたちが「福島市に育ってよかった」と思い、子どもたちのえがおあふれる社会をみんなで一緒につくっていきましょう!!

子どものえがお 基本理念

- 一人の人間として尊重されること
- 自己肯定感が育まれること
- 社会で生活する能力を身に付けること
- 個性や可能性を伸ばすことができること
- 地域社会がそれぞれの役割を果たしていくこと

子育てするなら福島市

子どもたちのえがおあふれる未来のための

11の基本的な方向性

- ①子どもの成長に応じた切れ目のない支援
- ②子ども及び保護者からの相談への対応
- ③子どもの居場所の確保
- ④子どもの社会参加等の促進
- ⑤保護者の居場所の確保
- ⑥子ども及び保護者の健康の増進等
- ⑦教育・保育の質の向上
- ⑧子どもへの虐待の予防等に関する取組
- ⑨支援を必要とする子ども及び保護者への取組
- ⑩生活環境の整備等の促進
- ⑪多世代の交流の推進

待機児童ゼロ

「保育の受け皿の拡充」と「保育士の確保」を2本柱に、安心して子育てできる環境づくりのため、待機児童対策を官民一体で積極的に推進しています。



特色ある幼児教育・保育

特色ある教育・保育を推進する施設の魅力ある取組を市内外に発信し、「子育てするなら福島市」と思っただけのよう幼稚園・保育施設を支援しています。



子育て家庭への支援の充実

保育施設・放課後児童クラブの多子世帯への負担軽減や地産地消による給食の実施、給食費の助成を行っております。



子どもたちへの願い
「将来の主人公」であり「地域の宝」である子どもたちは、多様な個性と無限の可能性を秘めています。そして、子どもたちのえがおには周りの人もえがおにし、福島市全体を元気にする力があります。その子どもたちには、命の尊さを知り、自分自身を大切に、人を思いやる心をもって欲しいという願いを込めました。えがおの種をまき続け、福島市を「えがお」満開にしましょう。

地域の人 見守り隊



子どもたちの安全・安心のため、毎日登下校時に協力してくださる地域の方々があります。

事業所 仕事と家庭の両立



事業所は、子育て家庭のために、様々な取り組みをしています。また、職場体験等についても協力しています。

地域の人 子育てサポート (ファミリーサポート事業)



「子育てのお手伝いができる方」の協力により、一時的に子どもを預かってくれる地域の方がいます。